

今、ハスの花が美しく咲いていますよ。植物園や花園の法金剛院や嵐山の天龍寺など、ハスのきれいなお寺はたくさんあります。

ではハスはなぜお寺に多いのでしょうか？それにはちゃんとわけがあります。

そもそもハスは古代インドで、聖なる花とされました。きたないどろをすって気高く咲くからです。

今から二千五百年も前、仏教が生まれましたが、仏教の教えの中でもハスはすばらしい花とされ、仏像の中にはハスを持つ姿で表現されるものも出てきました。

仏教の考え方では、人は生きているうちにいいことをいっばいすれば、地獄に落ちたりせず、極楽に生まれ変わって楽しく暮らせるというのですが、この、極楽に咲くのがハスとされました。お寺にたくさん植えられているのはこういうわけなのです。

ところでハスのねっこはおいしいですね。れんこん蓮根です。ハスの茎にも蓮根とおなじように穴があいています。ハスの実は、台湾などではおやつとしてふつうに食べられます。ハスの葉っぱは、お盆のお供えを盛り付けるときのしきものに使われます。表面は水をはじくので、水玉がころころ転がると見ていて楽しいです。

よくスイレンとハスを間違える人がいますが、スイレンは水面すれすれにやや小ぶりの花をつけるのに対し、ハスはけっこう水上に高く伸びあがって咲くので、それで見分けてください。

縄文ハスとか大賀ハスとか言われる品種は約六千年前のタネから発芽したもののなんですよ。すごいですね。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② なぜハスは聖なる花とされるのでしょうか？

③ 仏教はいつごろ生まれたのでしょうか？

④ 地獄におちないようにするにはどうしたらいいですか？

⑤ 地獄の反対はなんですか？

⑥ ハスの根っここの正体は？

⑦ ハスの実をふつうに食べるのはどこですか？

⑧ 縄文ハスのタネは何年間ねむっていましたか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 蓮根に水滴がつくところころ転がる。

（ ） ハスの茎にも穴が開いている。

（ ） 地獄の庭にはハスが咲いている。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

